

鶴岡高専地区保護者会資料

平成24年10月吉日

鶴岡工業高等専門学校
学校長 加藤 靖 様鶴岡・田川地区 保護者会
会長 渡部 純士

鶴岡・田川地区 保護者会総会の開催について

秋の気配いよいよこく、校長先生をはじめ学校関係者皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より当後援会活動に於いて、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標題の保護者会総会を下記の要領にて開催いたします。お忙しい中とは存じますがご臨席いただき、関係教職員のご出席につきまして宜しくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

1. 開催日時 平成24年12月2日(日) 午後2:00～

2. 開催会場 グランド エル・サン 1階 「クリスタルホール」

3. 総会次第

開催	午後2:00
来賓紹介	各先生方
あいさつ	保護者会会長、学校長
議事	平成23年度活動・会計報告、次年度役員選出
状況報告	教務・学生・寮務の各主事
閉会	午後3:30頃
懇親会	午後3:40頃

4. その他

- 当日、校長先生より来賓の挨拶を頂戴したいと存じます。
- 教務・学生・寮務の各主事先生より近況報告をお願いいたします。
- 当日出席してくださる先生方(役職)を事前にお知らせくださいますようお願いいたします。

以上

第21回 鶴岡工業高等専門学校

鶴岡・田川地区 保護者会総会次第

1. 開催日時 平成24年12月2日(日) 午後2:00～
2. 開催場所 グランド エル・サン 『クリスタルホール』
3. 総会進行案内
 - (1) 開会
 - (2) 会長挨拶 鶴岡・田川地区保護者会 会長 渡部 純士
 - (3) 来賓紹介
 - (4) 来賓挨拶 鶴岡工業高等専門学校 副校長 柳本 憲作先生
 - (5) 議長選出
 - (6) 議事
 - ① 平成23年度 活動報告と承認
 - ② 平成23年度 会計報告と承認
 - ③ 平成25年度 役員選出と承認(会長1名・副会長3名・会計2名)
 - ④ 平成25年度 新会長挨拶
 - ⑤ 平成25年度 新会長より幹事指名と紹介
 - (7) 学務、進路、寮生活などについて
教務主事 ・ 学生主事 ・ 寮務主事
 - (8) 質疑応答
 - (9) 閉会
4. 懇親会
 - (1) 開会 午後3:45頃から
 - (2) 乾杯 鶴岡工業高等専門学校 学生主事 江口 宇三郎先生
 - (3) 閉会 午後5:30頃(中締め)
 - (4) 解散

保護者から寄せられたご意見・質問等

平成24年度保護者会総会返信から

1. クラス、又は学年の懇親会等は、ないのでしょうか？
2. 役員の皆様、お疲れ様でございます。学校と家庭との絆を深める1年に1回の良い機会と思っております。盛会をお祈りしております。
3. 後援会の協力のおかげで部活も安心して続けられると思います。ありがとうございます。
4. 冬期通学バスの運行について、1度アンケート頂いたところだが、その後の進行状況は・・・？
5. 今年こそはスクールバス運行を、よろしく願います。
6. 冬期間、部活おわり頃の時間帯のバスがあると、とても便利になるのでお願いしたい。
7. 冬季だけでもバスを出して欲しい、アンケートだけで終わらずに是非お願い致します。(アンケートもクラスでまとめて提出じゃない為、直接学生課提出だったらしく、めんどくさがって出さなかったようでした。多人数。再度アンケートをとってもらいたい)
8. 送迎バスの早期実現をお願いします。
9. 毎年総会では、学校の行事や子供達の生活、考えなどわかりやすくおうかがい出来、又先生や他の保護者の方との交流が出来るので感謝しています。ご準備とか大変とは思いますがお世話になります。毎年ありがとうございました。

以上 原文のまま掲載

(出展：後援会資料)

保護者懇談会

平成24年度 1～4年生保護者懇談会実施要項

1. 日 時 平成24年7月28日(土)・29日(日) 8時30分～17時00分
※ 保護者の都合上、この日時以外となっている場合もあります。
2. 場 所 各担任教員室等
3. 内 容 保護者と各担任教員との個別懇談
4. 配付資料 『平成24年度 学生の生活状況等一覧』 (教務係作成)
『入学者増加へのご協力お願い』 (教務主事)
『その他配布物(学寮だより等)』 (各 係)
5. 準 備 ・各懇談室への案内表示及び懇談室前の掲示物作成 (教務係)
・懇談室前の掲示 (各担任教員)
・懇談室前に待機者用の椅子を用意 (#)
6. その他 ・業務に従事する教職員の勤務について、振替を行う。
・保護者への開催通知は教務係で行う。
なお、懇談順序等については、各担任教員が学生又は保護者と連絡、調整を行う。
・受付は設けず、案内図(配置図)を学生昇降口等に掲示する。
・保護者用の駐車場は、学生昇降口前及びグラウンド脇とする。

※当日の担当者

1) 担任教員

	1 年	2 年	3 年	4 年
M	茨木	大河内	五十嵐	矢吹
E	加田	阿部(秀)	内山	森谷
I	野々村	山田	西山	安齋
B	上松	上條	戸嶋	瀬川

2) 学生課

清野

第4学年 学年保護者会実施要領

1. 日 時 平成24年10月27日(土) 13:00~16:00

2. 場 所	区分/クラス	機械工学科	電気電子工学科	制御情報工学科	物質工学科
	進路説明会	視 聴 覚 室 (全学科合同)			
	各学科保護者会	7号館 721教室	7号館 722教室	7号館 731教室	2号館 221教室

3. 内 容

【進路説明会】

1. 今年度の進路状況、進路の決め方 副校長(教務担当)

2. 就職活動の方法 キャリア支援室長

3. 本校の専攻科説明 専攻科長

【各学科保護者会】

1. 各学科における進路状況 学科長(本橋、佐藤(秀)、吉住、栗野)

2. クラスの状況、4年工場見学について 担任教員(矢吹、森谷、安齋、瀬川)

3. その他

4. 日 程 13:00~14:00 全学科合同進路説明会【視聴覚室】
(司会:教務係清野)

14:20~16:00 各学科保護者会【各クラスルーム(7号館・2号館)】
(会場への誘導:各担任教員)

5. 配付資料

【進路説明会 資料】

『進路選択について』 (教務主事)

『就職指導について』 (キャリア支援室長)

『鶴岡高专 専攻科について』 (専攻科長)

【参考資料】

『平成24年3月卒業生進路状況調』 (学生係)

『平成24年3月修了者進路状況調』 (学生係)

『平成25年3月卒業予定者進路状況調』 (学生係)

『平成25年3月修了予定者進路状況調』 (学生係)

『大学等への編入学状況一覧表』 (教務係)

『専門学校等への進学状況一覧表』 (教務係)

『専攻科生の大学院等への進学状況一覧表』 (教務係)

『College Profile 2012-2013』

6. 準 備 ・各会場への案内表示及び会場前の掲示物作成 (教務係)

7. そ の 他

- ・業務に従事する教職員の勤務については、振替を行う。
- ・保護者への開催通知は教務係で行う。
- ・受付は設けず、案内図を学生昇降口、図書館入口、7号館、2号館に掲示する。
- ・保護者用の駐車はグラウンド東側駐車場、学生昇降口前、6号館西側とする。
(駐車スペースが不足した場合は、グラウンド沿いの道路脇に駐車)
- ・保護者の出欠席調査を、クラス担任教員にお願いする。
欠席者には、当日の配布資料を保護者に郵送する。

※当日の担当者

- 1) 第4学年担任教員 [矢吹、森谷、安齋、瀬川]
- 2) 副校長(教務担当)・専攻科長・学科長・キャリア支援室長
[柳本、宮崎、本橋、佐藤(秀)、吉住、栗野、瀬川]
- 3) 学生課 [学生課長補佐、田林、井上、清野]

(出典:学生課資料)

意見箱

皆様へ

鶴岡工業高等専門学校における課題・問題点を早期に把握し、その改善に資することを目的として『鶴岡高専意見箱』を開設しました。

皆様からの率直なご意見、ご要望、ご指摘をお待ちしております。

▼ 鶴岡高専意見箱 送信フォーム ▼

氏名(任意/匿名可)

連絡先 Tel(任意)

連絡先アドレス(任意)

所属(選択必須)

ご意見、ご要望、ご指摘等(可能な限り詳細に記入してください)

事項名(必須)

内容(必須)



※入力された個人情報は、本件についてのみ利用させていただき、その他の目的に使用することはありません。

※入力する際、半角カタカナや丸文字および特殊文字は使用しないでください。文字化けして、正常に送信されない場合がありますので、ご注意ください。

資料9-1-②-16 続き

独立行政法人国立高等専門学校機構 鶴岡工業高等専門学校 総務課総務係 Tel:0235-25-9014/Fax:0235-24-1840

〒997-8511 山形県鶴岡市井岡字沢田 104

- [本校へのアクセス](#)
- [お問い合わせ](#)

Copyright Tsuruoka National College of Technology. All rights reserved.

(出典：本校ウェブページ)

資料9-1-②-17

意見箱の意見報告書（抜粋）

意見箱に寄せられた意見一覧表

H25.2.22現在

No.	投稿日	所属	意見概要	対応	運営会議報告日	
45	H25.1.25	学生	題名:制御情報工学科の授業について もっとプレゼンテーションを行う機会を増やしたほうが良いと思います。	【当事者への対応】 制御情報工学科において、検討することとした。 【投稿者本人への回答】 匿名で連絡先の記入もなかったことから、回答は行わなかった。	学生課長→教務主事→制御情報工学科長	H25.2.28

(出典：総務課資料)

卒業生及び企業アンケート

引用・裏付資料 1.1-12 企業・卒業生アンケート

H22. 4. 26

企業アンケート結果

JABEEプログラム責任者

1. はじめに

平成21年12月下旬から平成22年2月中旬にかけて、277社（県内59社、県外218社）に対して本校のJABEE教育プログラムに関連したアンケート調査を実施した。

アンケートの目的は、本校のJABEE教育プログラムの学習・教育目標が社会の要望や要請に合致したものであるかを再確認することである。企業の選定は、最近5年間で3回以上本校に求人案内を申し込んだ企業を対象とした。アンケートは記名で実施した。

2. アンケート項目

- 1) 鶴岡高専に専攻科が設置されたことを知っているか
- 2) 学生の採用実績
- 3) 鶴岡高専の学生の評価について（・優れている点 ・不足している能力）
- 4) TOEIC 試験について（・採用において成績を考慮するか ・必要なレベルは何点か）
- 5) JABEE プログラムの認知度について
- 6) 鶴岡高専の学習・教育目標に関して（・最も重要な項目は何か ・重要度の低い項目は何か）

3. アンケート結果

アンケート回収結果： 100社（回収率36%）（内訳：県内31社(31%)、県外69社(69%)）

今回は、県外企業の意見が前回より強く反映されている。

参考：5年前のアンケート回収結果 166社（回収率42%）（県内85社(46%)、県外81社(39%)）

分析結果：

- 1) 専攻科の認知度は97%で5年前の認知度66%から大幅に上昇している。
- 2) 今回のアンケート対象企業の50%は、本科卒業生3～10名の採用実績があるが、専攻科修了生採用実績0の割合が78%と高く専攻科生に対する評価は困難であった。
- 3) 本校の本科卒業生の優れた点については、5年前の調査と比較すると「技術的基礎知識」が増えた点が目立つが、傾向的には大きな変化はない。企業は、「誠実さ」、「協調性」、「行動力」などの精神面において本校の学生の優位性を評価している。
- 4) 本校の本科卒業生の不足している点については、「英語力」の弱さは相変わらず第1位である。その他「コミュニケーション能力」や「プレゼンテーション能力」、「企画力」、「総合的問題解決力」など自ら発意して問題解決する力の不足が指摘されている。これら項目は、本校の学習・教育目標A)、F)、G)で教育する能力である。
5年前の調査と比較すると「コミュニケーション能力」不足の割合が増え「創造力」不足が減少した。その他は同様の傾向である。これらの課題は、特に専攻科生については次第に解決されているものと期待している。
- 5) JABEEについて知っている企業は36%程度であり、5年前の調査結果40%と比較してほとんど変わらないことが窺われる。企業の認知度はまだ低いと言える。
- 6) 採用に際してTOEICスコアを考慮する企業は10%と少ないが、必要なTOEICスコアを500点とする回答が最も多い。5年前は400点が最も多かった。英語要求レベルは上昇していることが窺える。
- 7) 学習・教育目標A) が相対的に最も重要という結果になったが、すべての目標に対して大きな差は見られずほぼ均等に分散した。これは、すべての学習・教育目標が重要であると評価されていることを示す。

アンケート分析詳細データ

1. 鶴岡高専に専攻科が設置されたことを知っているか 回答総数 全体100社 (県内:31 県外:69)

	知っている	知らない
全体	97%	3%
県内	100%	0%
県外	96%	4%

- * 専攻科の認知度は97%程度である。
5年前の認知度66%から大幅に上昇している。

2. 鶴岡高専からのこれまでの採用実績 回答総数 全体100社 (県内:31 県外:69)

	0名	1名	2名	3~5名	6~10名	11名以上
専攻科生	78%	20%	1%	1%	0%	0%
本科生	2%	18%	13%	25%	25%	17%

- * 今回のアンケート対象企業は本校本科卒業生の採用実績が3~10名の割合が50%であったが、専攻科生採用実績0名の割合が78%と高く専攻科生に対する評価はできなかった。専攻科修了生の数がまだ少ないことが要因である。(修了生総数平成21年度現在112名)

3. 鶴岡高専の本科卒業生の評価

優れている点 (上位8位まで) 回答総数 (複数回答可) 全体 319件

技術的基礎知識	誠実さ	協調性	専門知識	一般常識	行動力	コミュニケーション力	PC他情報技術能力
20%	14%	13%	10%	10%	7%	6%	3%

- * 5年前の調査では「技術的基礎知識」と「誠実さ」17%で並んで1位であった。傾向的には大きな変化はない。
- * 企業は、誠実さ、協調性、行動力などの精神面において本校の学生の優位性を評価している。

不足している点 (上位7位まで) 回答総数 (複数回答可) 全体 151件

英語力	コミュニケーション能力	指導力	プレゼンテーション能力	管理力	企画力	総合的問題解決力
16%	13%	9%	8%	8%	8%	7%

- * 5年前の調査と比較すると「英語力」不足は相変わらず第1位である。また、「コミュニケーション能力」不足の割合が増え、「プレゼンテーション能力」や「創造力」不足が減少した。その他は同様の傾向である。「英語力」不足に関しては、専攻科修了生はこの課題は次第に解決されつつあると考える。
- * 「コミュニケーション能力」や「プレゼンテーション能力」、「企画力」、「総合的問題解決力」など自ら発意して問題解決する力の不足が指摘されている。これらの点は、本校の学習・教育目標A)、F)、G)で教育している能力であり、次第に改善されてゆくものと考えられる。

4. 鶴岡高専の専攻科修了生の評価 (回答数が少ないため参考)

優れている点 (上位8位まで) 回答総数 (複数回答可) 全体 72 件

技術的 基礎知識	専門知識	誠実さ	協調性	行動力	総合的 問題解決力	計画的 問題解決力	PC他情報 技術能力
29%	15%	13%	8%	6%	4%	4%	4%

不足している点 (上位7位まで) 回答総数 (複数回答可) 全体 36 件

企画力	管理力	指導力	英語力	開発力	総合的 問題解決力	コミュニケーシ ョン能力
14%	11%	8%	8%	8%	8%	8%

- * サンプル数が少ないため、統計的な信頼性は低いと思われる。また、対象学生は、入社早々の新人が多いことも考慮する必要がある。

5. TOEIC 試験について

採用試験で TOEIC 成績を考慮するか 回答総数 92 社

考慮している	近々考慮する	当分考慮しない
10%	19%	71%

- * 採用に際して TOEIC 成績を考慮しているあるいは数年内に考慮する企業は 30%程度である。5年前の調査では、40%程度であった。傾向としては、大きくは変わっていないと考える。

必要とされる TOEIC 得点レベル 回答総数 61 社

300 点	400 点	500 点	600 点以上
5%	34%	46%	15%

- * 今回は、500 点とする回答が最も多かった。5年前は 400 点とする企業が 47%と最も多く 600 点以上と回答した会社は 10%に過ぎなかった。この点から、企業の英語要求レベルは上昇していることが窺える。

6. JABEE 認定教育プログラムの認知度について 回答総数 89 社

よく知って いる	ある程度知って いる	あまり知らない	全く知らない
2%	34%	43%	21%

JABEE 認定プログラムを継続維持することに対して 回答総数 86 社

評価する	概ね評価する	あまり評価しない	評価しない
26%	58%	15%	1%

- * JABEE について知っている企業は 36%程度であり、5年前の調査結果 40%と比較するとほとんど変わらないことが窺われる。企業の認知度はまだ低いと言える。
- * JABEE 認定プログラムを維持継続することに対しては評価するとの回答が多い。

7. 鶴岡高専の JABEE プログラムの学習・教育目標について

A)～G) の学習・教育目標で重要なものはどれか 回答総数 (複数回答可) 289 件

A) 構想力	D) 基礎工学と情報技術	G) 計画的・継続的問題解決力	E) 1つの専門と幅広い対応力	B) 地球的視野と技術者倫理	F) 論理的表現力と英語力	C) 理論的基礎学力と実験力
21%	16%	16%	15%	11%	11%	10%

- * 学習・教育目標 A) が相対的に最も重要という結果になったが、すべての目標に対して大きな差は見られずほぼ均等に分散した。このことは、すべての目標が重要であると評価されていると考えることができる。

(参考：5年前の調査 回答総数 159、A) 46%、D) 16%、E) 15%、G) 8%の順であった。)

A)～G) の中であまり重要でない目標は何か 回答総数 (複数回答可) 55 件

F) 論理的表現力と英語力	B) 地球的視野と技術者倫理	E) 1つの専門と幅広い対応力	G) 計画的・継続的問題解決力	C) 理論的基礎学力と実験力	D) 基礎工学と情報技術	A) 構想力
36%	34%	13%	9%	4%	2%	2%

- * B)、F) が相対的に重要度が低いと評価されている。しかし、回答数の絶対数は圧倒的に少なくあくまで A)～G) の中の相対的評価である。5年前の調査においても、今回と同様の結果であった。

参考：5年前の調査 回答総数 130、B) 38%、F) 32%、E) 11%、C) 8%

- * 5年前の調査においても、本校の学習・教育目標 A)～G) は 99% の企業から概ね適切であるとの評価を受けている。今回のアンケート結果においても、その評価は変わっていないと考えられる。

8. アンケート回答企業の業種分類 (上位 8 位まで) 回答総数 100 社

サービス業	機械	化学	電気・電子機器	食品	精密	建設	その他 (製造業)
17%	13%	9%	8%	8%	8%	8%	7%

- * 業種に関しては、情報・ソフトウェア分野を含むサービス業が最も多く、機械、化学の順になっている。電気・電子機器、食品、精密、建設、その他 (製造業) がほぼ等しい割合である。業種は多岐にわたっている。

5年前のアンケートでは電気・電子機器が 16% で第 1 位、サービス業は 11% で第 3 位であったが今回は、この 2 つが逆転している点が大きな違いである。業種が多岐にわたっている傾向は同様である。

卒業生アンケート結果

JABEEプログラム責任者

1. はじめに

平成21年12月下旬から平成22年2月中旬にかけて本校のJABEEプログラム修了生(約80名: H15年3月~20年3月)や本科卒業生(約700名: H17年3月~20年3月)に対して、本校で掲げている「学習・教育目標」に関するアンケート調査を実施した。アンケートの目的は、学習・教育目標A)~G)の内容が卒業・修了後の職場などでどの程度必要とされているのかということ(必要性)、および在学中にそれぞれがどのくらい達成したのかあるいは達成すべきなのかということ(達成度)について調査することである。

2. アンケート項目

アンケート項目は、学習教育目標A)~G)に対応したものをそれぞれ設定した(別紙参照)。また、職場におけるJABEEプログラムの認知度に関する項目についても調査した。

3. アンケート結果

196名の卒業生・修了生からの回答を得た(回収率25%)。アンケートの回答者は、各学科や各専攻にバランス良く配置されており、就職組と進学組の割合はおよそ3:1であった。また、就職先の業種も多岐にわたっており平均的な意見の集約となっている。以下に個々の学習教育目標に対する結果について述べる。

A) 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける能力について

本目標の必要性については「大いに必要」と「ある程度必要」をあわせて「必要」が90%近くに達している。これに対し、獲得した能力に対する満足度は「十分」と「ある程度満足」を合わせて45%という結果になっている。

B) 地球的視野と技術者倫理について

本目標の地球的視野や技術者倫理の必要性については68%とかなり高い値である。特に、技術者倫理の必要性は82%と高いことが伺われる。他方、本校で獲得した能力に対する満足度は、40%程度にとどまっている。

C) 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力について

本目標の必要性については67%とかなり高い値である。また、満足度も59%とかなり高い。

D) 工学の基礎学力と情報技術について

本目標の必要性は80%と高い値を示している。満足度は基礎知識や応用力は59%とかなり高いものの、情報技術関連では満足度は45%と低くなっている。

E) 一つの得意分野を持ち、生産技術に関する幅広い対応能力について

本目標の必要性は70%かなり高い値である。他方、満足度は41%とやや低い。

F) 論理的表現力と英語力について

本目標の文章の表現力に関しては84%が必要性を感じているものの、「満足」という回答が27%と特に低い。また英語力の必要性は47%と本校の卒業生の職場ではやや低い結果となった。英語力の満足度も17%と極めて低い。

G) 計画的、継続的、客観的な問題解決能力について

本目標の必要性は90%と極めて高い。本校で獲得した能力の満足度は45%程度である。

・ JABEE認定プログラムの修了生であることのメリットについて

何らかのメリットがある卒業生は7%と極めて低く、職場での認知度は低いと言える。

以上、本校の学習・教育目標A)~G)は、卒業生からその必要性を高く評価されており適切であるとの社会的評価を得たものと考えられる。しかし、達成度に関しては、満足度50%以下が多く必要性の評価に比較して相対的に低い。これは、現状、彼らが期待されている能力水準は卒業時の達成レベルより高いことを示すと考えられ、ある意味では当然の結果である。しかし、他方では、もっと教育力を高めて欲しいという要請でもあり、我々はこれらに答えて行く必要がある。

鶴岡高専の学習・教育目標に関するアンケート

1 卒業または修了した学科や専攻名

- (1)機械工学科(24%),(2)電気工学科(24%),(3)制御情報工学科(20%),(4)物質工学科(17%),
(5)機械電気システム工学専攻(9%),(6)物質工学専攻(6%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
-----	-----	-----	-----	-----	-----

2 卒業・修了時の進路はどちらでしたか。

- (1)就職(74%),(2)進学(25%),(3)その他(1%)

(1)	(2)
-----	-----

3 一覧から業種を選択してください。

- (1)食料品(1.5%), (2)繊維工業(0.5%), (3)紙・パルプ(0%), (4)化学工業(12%), (5)医薬品(2%), (6)石油(1.5%),
(7)ゴム製品(0%), (8)ガラス・セラミックス(0.5%), (9)鉄鋼(0%), (10)非鉄金属(0.5%), (11)金属製品(1.5%),
(12)機械(6%), (13)電気・電子機器(13%), (14)輸送用機器(6%), (15)精密機器(5%), (16)その他(製造業)(10%),
(17)水産・農林業(0%), (18)鉱業(0%), (19)建設業(4%), (20)電気・ガス・水道業(3%), (21)倉庫・運輸業(1%),
(22)通信業(6%), (23)卸売・小売業(1%), (24)銀行業(0%), (25)証券・商品先物取引業(0%), (26)保険業(0%),
(27)その他金融業(0%), (28)サービス業(6%), (29)その他(非製造業)(4%), (30)学生(15%)

【学習教育目標A～Gに掲げた内容の職場での必要性(要求性)と高専での達成度(満足度)】

A. 知識を統合し多面的に問題を解決する構想力を身につける能力について

(卒業研究や専攻科研究によっていろいろな知識を駆使して問題を解決する能力を身につける)

4 職場では上記の能力が必要とされますか。

- (1)大いに必要(54%),(2)ある程度必要(33%),(3)どちらとも言えない(4%),(4)あまり必要ない(7%),(5)全く不要(2%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

5 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

- (1)十分満足(7%),(2)ある程度満足(38%),(3)どちらとも言えない(32%),(4)少し不足(18%),(5)全く不足(5%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

B. 地球的視野と技術者倫理について

(人文、社会、語学系の科目や環境系教科および技術者倫理の科目によって国際的視野を持ち、
技術者の社会責任を自覚できる能力)

6 職場では工学技術の持つ地球的社会的影響を理解できる能力が必要とされますか。

- (1)大いに必要(28%),(2)ある程度必要(40%),(3)どちらとも言えない(15%),(4)あまり必要ない(13%),(5)全く不要(4%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

7 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

- (1)十分満足(7%),(2)ある程度満足(33%),(3)どちらとも言えない(38%),(4)少し不足(13%),(5)全く不足(9%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

8 職場では工学技術者としての自覚や倫理的責任を理解できる能力が必要とされますか。

- (1)大いに必要(40%),(2)ある程度必要(42%),(3)どちらとも言えない(13%),(4)あまり必要ない(4%),(5)全く不要(1%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

9 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

- (1)十分満足(6%),(2)ある程度満足(38%),(3)どちらとも言えない(38%),(4)少し不足(14%),(5)全く不足(4%)

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
-----	-----	-----	-----	-----

C. 数学、自然科学の基礎学力と実験・実習による実践力について
(数学や物理、化学系などの基礎知識と実験・実習で培った実技能力)

10 職場では数学や物理、化学などの工学の基礎となる知識や応用能力が必要とされますか。

(1)大いに必要(36%),(2)ある程度必要(31%),(3)どちらとも言えない(15%),(4)あまり必要ない(14%),(5)全く不要(4%)



11 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

(1)十分満足(12%),(2)ある程度満足(47%),(3)どちらとも言えない(29%),(4)少し不足(9%),(5)全く不足(3%)



12 職場では実験を通して現象を科学的に分析・理解する実践力が必要とされますか。

(1)大いに必要(33%),(2)ある程度必要(29%),(3)どちらとも言えない(15%),(4)あまり必要ない(13%),(5)全く不要(10%)



13 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

(1)十分満足(8%),(2)ある程度満足(36%),(3)どちらとも言えない(41%),(4)少し不足(10%),(5)全く不足(5%)



D. 工学の基礎学力と情報技術について
(機械力学や設計・工作法、電気回路、電子回路、制御工学、無機・有機化学などの専門基礎科目および情報系科目で学んだ知識)

14 職場では専門の基礎となる知識や応用能力が必要とされますか。

(1)大いに必要(47%),(2)ある程度必要(34%),(3)どちらとも言えない(8%),(4)あまり必要ない(9%),(5)全く不要(2%)



15 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

(1)十分満足(12%),(2)ある程度満足(44%),(3)どちらとも言えない(24%),(4)少し不足(16%),(5)全く不足(4%)



16 職場ではコンピュータの利用技術や関連分野の汎用ソフトウェアを使える能力が必要とされますか。

(1)大いに必要(53%),(2)ある程度必要(31%),(3)どちらとも言えない(9%),(4)あまり必要ない(5%),(5)全く不要(2%)



17 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

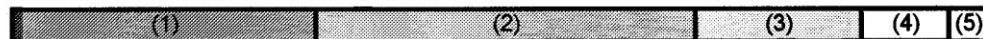
(1)十分満足(11%),(2)ある程度満足(34%),(3)どちらとも言えない(26%),(4)少し不足(24%),(5)全く不足(5%)



E. 一つの得意分野を持ち、生産技術に関する幅広い対応能力について
(各学科や専攻の専門科目で学んだ知識)

18 職場では上記の能力が必要とされますか。

(1)大いに必要(31%),(2)ある程度必要(39%),(3)どちらとも言えない(17%),(4)あまり必要ない(9%),(5)全く不要(4%)



19 高専で修得した上記の能力は業務遂行の上でどの程度満足していますか。

(1)十分満足(6%),(2)ある程度満足(35%),(3)どちらとも言えない(45%),(4)少し不足(8%),(5)全く不足(6%)

